

主題：雅歌に描写されているような勝利の生活

メッセージ 5

第二段階で勝利を得る(2)

復活したキリストによって召され、力づけられ、励まされ、
十字架との一を通して自己から救い出される

聖書：雅 2:8 — 3:5. マタイ 16:24. ピリピ 3:10

I. わたしたちは雅歌の中に描写されているようなキリストの復活のビジョンを見る必要があります——2:8-13:

- A. 主は、復活の主です。この区分において、彼はご自身の復活の活力と力を現しています。
- B. キリストが彼の愛する者を力づけるのは、かもしかが山々を飛び越えることと、若いしかが丘の上を跳ねることによって、ご自身の復活の力を彼女に示すことによつてです—— 8-9 節：
 - 1. キリストの復活の力によって、わたしたちは十字架を取り、自己を否むことを決意します——マタイ 16:24。
 - 2. キリストの復活の力によって、わたしたちは彼の死へと同形化されることができまます——ピリピ 3:10. 雅 2:14。
- C. キリストは、彼の復活の繁茂する豊富によって、彼の愛する者を励まします—— 11-13 節。
- D. 復活の実際は、わたしたちの再生された霊に内住しミングリングされている、命を与える霊としてのキリストです—— I コリント 15:45 後半. 6:17。
- E. ミングリングされた霊の中で、わたしたちはキリストの復活を経験します。それによってわたしたちは十字架と一になり、自己から救い出されることが出来ます。

II. わたしたちは十字架のビジョンを見る必要があります——ガラテヤ 6:14. 2:20. 3:1. I コリント 2:2:

- A. 十字架は神の目に尊いのです。なぜなら、十字架はすべての否定的なものを終結させ、神聖な命を解き放ったからです——ローマ 6:6. ヘブル 2:14. ヨハネ 12:24。
- B. 神はご自身のエコノミーにおいて、わたしたちにひとりのパースン、すなわち、すべてを含むキリストと、一つの道、すなわち、十字架を与えています—— I コリント 2:2. ピリピ 2:5-11。
- C. 神は十字架によってあらゆる事を統治し、十字架によってあらゆる事を取り扱います——コロサイ 1:20. 2:14-15。
- D. 神が定め、高め、尊ぶ道は、キリストの十字架です——ガラテヤ 6:14：
 - 1. 十字架は、神のエコノミーを達成する道の中心性と普遍性です——コロサイ 1:20. 2:14-15。
 - 2. 霊的に前進し、召会生活を持つためには、わたしたちは十字架を経験する必要があります

あります—— I コリント 1:2, 9, 18-23. 2:2. 3:6, 9. 12:27。

III. わたしたちは自己についてのビジョンを見る必要があります——マタイ 16: 22-24. ルカ 9: 23-25 :

A. 自己はサタンの具体化です——マタイ 16:23, 24 :

1. サタンのものが魂に加えられたとき、魂は自己になりました。
2. サタンの思い、思想が人の魂の中に注入されたとき、魂は腐敗して、自己になりました——創 3:1-6. マタイ 16:22-25。
3. 自己は、魂にサタンの思い、サタンの思いを加えたものです—— 23 節。
4. 自己の中にいるとは、サタンと合併されることです—— 22-24 節。

B. 自己は、神からの独立を宣言する魂です——創 3:1-6 :

1. いつであれ魂が神に頼らず、神から独立しているときは、魂は直ちに自己になります—— I コリント 2:14。
2. 自己は神から独立します。それは神のみこころや神の權益を顧みません——マタイ 16:22-23. 参照、6:9-10, 13 後半, 33。

C. 自己は、からだの建造にとって最大の問題です—— 16:24. エペソ 4:16。

IV. 雅歌第2章8節から第3章5節において、主は彼の愛する者たちを召して、十字架との一を通して自己から救い出します :

A. 十字架は、岩の裂け目とがけの隠れ場によって表徴されています—— 2:14 前半。

B. キリストは、岩の裂け目とがけの隠れ場としての十字架において、彼女の顔を見、彼女の声を聞くことを願います—— 14 節後半。

C. ピリピ第 3 章 10 節は、雅歌第 2 章 8 節から 14 節と一致しています。ここで描写されている十字架は、主観的で経験的なものです :

1. 客観的な十字架は、わたしたちの主観的な経験にならなければなりません——ガラテヤ 2:20。
2. 「おお、主の十字架を、うちに受け入れる。自己の支配を出て、主により生きる」——詩歌 366 番のおりかえし。

D. 自己から救い出されるとは、キリストの十字架と一になることを通して自己から救われることを意味します——雅 2:8 — 3:5 :

1. わたしたちは、自己の主観性から、すなわち、自己を中心また原則とすることから、救い出される必要があります——ルカ 9:23。
2. わたしたちは、自己の特異性から、すなわち、わたしたちの偏りねじ曲がった特徴から、救い出される必要があります——参照、ローマ 8:29 :
 - a. わたしたちの特異性は、わたしたちをキリストのさらに豊かな経験から、生けるキリストから、キリストのからだとして建造されることから妨げます——エペソ 3:8. 4:16. ピリピ 1:20-21 前半。
 - b. わたしたちの特異性は、召会生活の中でわたしたちがキリストの復活を経験することを妨げます——参照、ヨハネ 11:24-25。

3. わたしたちは、自己を愛することから救い出される必要があります——ルカ 9:24. 啓 12:11。

V. わたしたちが十字架との一を通して自己から救い出されることの結果は、わたしたち

が復活の命の繁茂を経験し、キリストを経験し享受し、命において成長し、造り変えを通して美しくされ、そしてキリストのからだの感覚を持つようになり、からだの中で、からだを通して、からだのために生きるということです——ピリピ 3:10. コロサイ 2:19. ローマ 12:4-5, 15. I コリント 12:12-27。

©2005 *Living Stream Ministry*